

さあ、期末試験だ！ 準備を万全にし、ベストを尽くそう !!

私は目と手と耳に覚えさせました。

重要な部分をノート等(に書きながら読むだけです。

書く事で手が覚え、読むことで耳が覚え、それを見る事で目が覚めます。

手は疲れ、ず〜っとブツブツつぶやいているので傍から見たら変ですが、テストはいつもコレで乗りきっていました。また、授業中必要な事は教科書に書き込んでいました。

これは、ある中3生の勉強のしかたです。

期末テスト対策としては、「整理と研究」など学校のワークを第一(に考えましょう。この中からほとんどの問題は出されます。次に、塾のワークでできなかった問題をやり直します。これで十分です。

1)国語

国語の場合は読解力が必要になってきます。まずはテスト範囲内の文章を数回読み返しましょう。穴埋め問題などはよく出題されます。ただ文字を目で追うのではなく、**内容もある程度考えながら読みます。**かといって、そんなに時間をかける必要はないです。サラッと読む程度で。また、ノートに授業の解説(この作者は何でこういう表現をしたのか?何を言いたかったのか?など)が書いてあるので、それも読み返しておきます。漢字も範囲に含まれているのなら、そこで点数を稼ぎましょう。

(2)数学

公式を覚えて、あとは問題を解くこと。参考書や問題集よりも先に、**学校で使ったプリントや教科書の問題を徹底的に解きましょう。**間違えた問題・分からなかった問題は、しっかり考えて「何故こうなるのか?どうしてこの式が成り立つのか?」などの理解も忘れずに。

(3)英語

まずは**英単語や熟語**を知らない事には始まりません。ただ、単語だけでも問題は解けません。**英文法**もしっかり復習しておきましょう。

そのまま丸暗記するのではなく、文法はよくよく見てみると昔習ったものと関連があったりします。それがわかれば様々な問題に 응용ができますよ。



(4)理科

化学や物理など、分野が色々ありますが、とりあえずは**教科書・ノートの見直し**が基本です。練習問題が出ていれば、それも復習しておきましょう。

(5)社会(地理・歴史・公民など)

これも**教科書・ノート**の復習が中心です。国の名前や場所は暗記しかありませんが、

「〇〇が起きたのは何故ですか。」

「〇〇(について説明しなさい。」

という記述を課す先生も多いでしょう。これは、内容を覚えていて、なおかつ正しく理解していないと辛いです。

最後に全体を通して言えるのは、どんなに意味不明で訳が分からなくても埋め合わせる事!!です。すぐ空欄にしてしまう人もいますが、適当に書いたら意外と合ってるかも知れません。

ノーベル物理学賞を受賞した朝永振一郎先生の勉強のしかた

「前日(に翌日のことを予習して、教室(にて注意して聞き、(なるべく教室(にて、直ちに憶えるよう(にすべし)、帰りては必ず復習す、此三つをすれば、自ら憶えられるべし。而して一週間の後(には、全科(につきて大略(に復習すべし。これは土曜日の晩か、日曜日の朝(にすれば可なり)」

予習と徹底した復習、一週間後の復習で学力はつく。汗を流して自分に挑戦してみましょう。

あなたはどのパターン?

①何から手をつけていいのかわからない人は?

やるべきことを確認

- ・ ノート・プリントの整理
- ・ 各教科のワークを解く(定期テスト(に一番出題されやすい)
- ・ 塾のワークの復習(特にできなかった問題をやり直す)

②だらだらと勉強してしまう人は?

スケジュールをたてる

- ・ 遅くても10日前からテスト勉強をスタートさせる
- ・ 基礎の確認→暗記→問題演習 各教科ごとにステップを決めておく。
- ・ 苦手科目から手をつける

③スケジュールをたてても実行できない人は?

スケジュールを見直す

最初の2、3日実行できなかったら、すぐに予定を変更

- ・ 計画に無理がないかどうかを確認
- ・ 土日に予備時間をとっておく。平日できなかったことを予備時間で挽回することができる



#### ④勉強していても気が散ってしまう人は?

#### 環境を整える

- ・ 漫画・雑誌・テレビなどを排除して、勉強以外のものは机から見えないところに置く。
- ・ テスト前は、ゲームなど我慢して、意識的に勉強に取り組む

期末試験まであと2週間あまり、中間試験の反省を踏まえ、効率よく集中して勉強して、いい結果ができるように頑張りましょう。



#### □勉強の必勝法は、短い時間で何度も繰り返す

##### やり方 ①口や手を動かす

覚える時は、ただ見ているだけではなかなか頭に入らない。声に出して読んだり、手で書いたりすればすごく覚えやすい。英単語を覚える場合、まず正しい発音を三度し、10秒間集中して覚える。同じ単語を何度も書いて覚えるよりも、短い時間で何度も繰り返す方法がベスト。つまり「視覚特化」が覚える効率を高める。

※単語の覚え方

×(だめ) 1単語を1分間かけてじっくり覚えて、1時間で60単語覚える。

○(よい方法) 1単語を1秒見て、1分間で60単語を見る。それを1時間で60回繰り返す。

##### やり方 ②繰り返す 『ジャブKO法』の実戦

暗記ものは、何度も繰り返すことが大切。その日覚えたと思っても、時間がたつと忘れてしまう。勉強は「一発ストレート」をねらうのではなく、「小さなジャブ」を繰り返す。一度暗記したものでも、時間を置いてからもう一度覚えなおすこと。

##### やり方 ③目標をたてる

目標をたてることでやる気が出てくる。「英語は100点とるぞ」「数学は学年10番以内に入るぞ」「今日これを覚えるぞ」といった目標を定めて、それを達成するようにすること。また、得意科目をどんどんやれば、相乗作用が働き、不思議と不得意科目も伸びてくる。



#### ■期末テスト及び強化授業日程

◎ 神吉中・山手・平岡南・浜の宮・播磨南中

試験日11/24(水)～26(金)

強化授業日 11/23(火) 24(水) 25(木)

◎ 中部中

試験日11/25(木)～29(月)

強化授業日 11/24(水) 25(木) 27(土)

◎ 志方・鹿島・宝殿・別府中

試験日11/29(月)～12/1(水)

強化授業日 11/27(土) 29(月) 12/1(火)



#### ■休業のお知らせ

11月29日(月)30日(火)は第5週目につき通常授業はありませんが、期末試験強化授業を行います。

#### □教育情報「22年9月度新聞記事より抜粋」

『文科省・政府発表』

#### 日本の教育予算、OECD最下位 GDP比3.4% 22年9月7日(朝日新聞)

経済協力開発機構(OECD)は7日、日本や欧米など32カ国の教育状況をデータで紹介する「図表でみる教育2010」を発表した。2007年現在の統計で、教育機関に支出される日本の公的支出の割合は、国内総生産(GDP)比で3.3%と、データのある加盟28カ国の中で最下位になった。

統計は、小中学校や高校、大学など全教育機関に対する国や自治体などからの公的な支出の額を国際比較した。

GDP比の公的支出は加盟国平均で4.8%で、最も高かったのはアイスランドの7.0%。次いでデンマークが6.6%、スウェーデンが6.1%だった。ただ、日本では今年度からすべて国費で高校の授業料無償化を始めているが、その予算はまだ調査に反映されていない。

日本では子ども1人あたりの教育支出はOECD平均を上回っているが、家計などの私費負担の割合が高い。日本は教育支出のうち私費負担が33.3%を占め、加盟国平均の17%を大きく上回る。特に、小学校入学前の就学前教育(56.2%)と、大学などの高等教育(67.5%)で高い水準になった。